

令和6年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策 体系	分 野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施 策	05 生きがい ー市民のみんなで学ぶ、地域で学ぶを推進しますー		
重点プロジェクト		いきいき“元気・健康”プロジェクト		
総合戦略		安全・安心な暮らしを守るとともに、デジタルの力を活用した魅力ある地域を構築する		
主 管 課	市民活動推進部 協働推進課	評価責任者		吉村 敏世
		評価日		令和7年6月2日
関 連 課		学校教育課、社会教育課		
目 標		夢が広がり、生涯を通して学び続ける環境づくりの推進に向けて、多様なニーズを踏まえた市民の生きがい学習への参加機会の創出と支援を行うとともに学んだ経験を地域に還元する仕組みを構築します。		
施策目標の実現 に向けた取組		(1) 生きがい学習の充実 ○生きがい学習まちづくり出前講座や生きがい学習ボランティアなどの生きがい学習の充実を図ります。 ○各世代に応じた講座の開設など、市民のニーズに応じた学習メニューを充実させ、学習活動を支援します。 (2) 生きがい学習の地域還元 ○市民大学ふじみ野の修了生や生きがい学習ボランティアの派遣などを活用し、学びの成果を地域に還元する仕組みを構築します。		

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策指標	指標1	指標名	生きがい学習受講生数【総合戦略】							
		説明	生きがい学習まちづくり出前講座、生きがい学習ボランティア派遣による学習、こども大学ふじみ野の参加者数は、事業目的に対する関心度や効果を反映するものとして、市民の生きがい学習を推進する指標となるため。							
		単位	人							
	活動	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	350	370	390	410	420	440	460	
		実績値	583							
	指標2	指標名	市民大学ふじみ野の修了生の活動実績数（累計）【総合戦略】							
		説明	市民大学ふじみ野を受講し、その知識や技術を活かして地域活動に参加した回数。受講後、学んだ経験を地域へ還元する指標となるため。							
		単位	回							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	210	240	270	300	330	360	390	
		実績値	296							
	指標3	指標名	生きがい学習ボランティアの活動実績数（累計）【総合戦略】							
		説明	生きがい学習を支援するボランティアの活動実績数。市民による生きがい学習の機会を創出する指標となるため。							
		単位	回							
	活動	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	20	23	26	29	32	35	38	
		実績値	28							
	指標4	指標名								
		説明								
		単位								
		年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値								
		実績値								
	指標5	指標名								
		説明								
		単位								
		年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値								
		実績値								

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
支出	事務事業費	7,495	0	0	0	0	0	0
	人件費	11,184	0	0	0	0	0	0
収入	特定財源	168	0	0	0	0	0	0
	一般財源	18,511	0	0	0	0	0	0

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する取組です。

	実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	【総合戦略】子ども大学ふじみ野の開校 総合テーマ：共に生きる社会の理解 令和6年度のテーマ：おやつで感じる国際理解～海外のスイーツをつくってたべて多文化をまなぶ～ 対象：小学校4年生から6年生 実施日：令和6年11月23日、11月24日	2日間の講義を実施し、24人が参加した。テーマに沿った講義を、文京学院大学及び東入間青年会議所と協力し、実施した。受講者は2か国のおやつ作り、パワーポイントを使用したレポート作成を通して、国際理解を体感した。	生きがい推進事業（一部）
取組②	【総合戦略】市民大学ふじみ野の開校 地域での学びの促進と人材育成を目標に、NPOとの協働により市民大学ふじみ野において講座を開催した。前期・後期のレギュラー講座の他、大学や関係課との特別公開講座、また、市民が市民に対して教え・学ぶ、双方向の学びの枠組みである学び合い講座を実施した。	25講座を開催し、497人が参加した。身近な内容から専門的な内容まで幅広いジャンルを揃え、市民ニーズの高い講座を実施し、知の好循環の一助となった。	市民大学ふじみ野運営事業
取組③	【総合戦略】生きがい学習ガイドブックの作成 令和5年度末から、生きがい学習ガイドブックに掲載する情報を各公共施設の利用団体や各課・関連団体から集め、6月下旬に2,000部を発行し、市内各施設で配布をした。	サークル加入及び活動に関する問合せが110件あり、市民活動への参加に繋がった。生きがい学習まちづくり出前講座を18件実施し、市民の学習ニーズに応じた。生きがい学習ボランティアは4件の派遣を行い、市民が培った能力を地域に還元した。	生きがい推進事業（一部）
取組④			
取組⑤			

5. 評価

評価	
指標の達成状況	子ども大学ふじみ野は、市内の小学校4年生から6年生を対象に、「おやつで感じる国際理解～海外のスイーツをつくってたべて多文化をまなぶ～」をテーマに2日間実施した。1日目は、ふじみの国際交流センターボランティア講師による2か国のおやつ作りを「生き方学」「ふるさと学」として実施し、2日目は「はてな学」としてパワーポイントを使ってレポート作成を行い、後日大井総合支所ギャラリーへの掲示を行った。受講者同士で協力し成果物を仕上げることで、学校や学年にとられずに児童たちが交流を図ることができた。
行政資源の活用	市民大学ふじみ野は、市民で構成されているNPOに業務委託し、「市民の学び 地域の学び 知の好循環」をテーマに、学びを地域への活動に繋げ、地域での活躍のきっかけとなる講座を実施してきた。講座は、レギュラー講座（前期・後期）、特別公開講座（令和6年度は高齢福祉課との共催、ふじみ野市音楽家協会協力）、学び合い講座で構成される。レギュラー講座では、サロン型式のタブレットを使用した講座と映画鑑賞講座を実施した。学び合い講座では、講師募集説明会と講座を初めて年度内に実施した。受講者の申込みも多かった。今後もニーズを踏まえた事業展開を継続して実施していく。
取組の有効性	市民が生きがい学習の情報を得る手段の一つとして、「生きがい学習ガイドブック」を発行し、各公共施設において多くの方に配布した。今後においても、より市民に活用していただくために、生きがい学習ガイドブックの存在の周知を図るとともに、活用しやすい紙面づくりに努めていく。
効果が見られている	